

氏名	大場良子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	成人看護学、がん看護、緩和ケア、健康心理学				
学位	修士（カウンセリング）				
学歴	1995年埼玉県立衛生短期大学、2002年青山学院大学文学部教育学科、2010年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本看護教育学会、日本がん看護学会、日本ヒューマン・ケア心理学会（理事）、日本健康心理学会、日本カウンセリング学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	看護学入門10成人看護Ⅲ；第3章 皮膚疾患看護の基本、第4章 皮膚疾患患者の看護	共著	あり	株式会社メヂカルフレンド社；P.317	大場良子（著）、飯岡由紀子（編）	2020.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	「中堅看護師の教育力」の概念分析	共著	あり		日本看護科学会誌40巻 p. 629-635	宮部明美・鈴木玲子・常盤文枝・山口乃生子・大場良子・東口晴菜
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	女性のがん体験者におけるがん治療後の外見変化とピアランス支援に関する実態調査～ピアサポートをしている患者会に期待されるピアランス支援とは～	共同		第58回日本癌治療学会学術集会・京都（オンライン）	内山由紀・河村裕美・矢後綾子・大場良子	2020.10
2	がんサバイバーを対象としたキャンパス型緩和ケアサロン継続参加の意味と運営の課題	共同		第27回日本ホスピス・在宅ケア研究会福井大会、オンライン開催	○黒田真由美、星野純子、宮部明美、大場良子、渋谷えり子、常盤文枝、鈴木玲子	2020.9
3	キャンパス型緩和ケアサロンへの参加が家族にもたらす効果	共同		第27回日本ホスピス・在宅ケア研究会福井大会、オンライン開催	○星野純子、黒田真由美、宮部明美、大場良子、渋谷えり子、常盤文枝、鈴木玲子	2020.9
4	がんサバイバーとの交流会参加学生の学びを支える要因の分析	共同		第35回日本がん看護学会学術集会（オンライン開催）	○渋谷えり子、大場良子、星野純子、廣田 千穂	2021.2
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			中堅看護師の教育力深化を目指したアクティブラーニング型研修の開発と評価	研究分担者	2018.4～2022.3
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）			チームの納得を促進するための看護師のコーディネート力向上プログラム開発と評価	研究分担者	2019.4～2024.3
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究分担者	2019.4～2023.3
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			AYA世代婦人科がん体験者における女性性の危機と再適応を促す因果モデルの検証	研究代表者	2020.4～2024.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	がん看護	○	8	今年度はオンライン授業が中心であったが、リアルタイムで授業を行い学生との意見交換ができるように工夫をした。がん医療の基本的知識をはじめ、最新情報を盛り込み、講義だけでなく、オンラインであっても演習を取り入れて授業を行った。
2	理学療法学科__地域理学療法学演習		1	理学療法学科の演習授業において、緩和ケアとリハビリテーションについてオンライン講義を行った。
3	成人看護学V		5	慢性疾患事例の看護過程演習として、PBLチュートリアルを活用したアクティブラーニングを行った。2グループ（10名）を担当した。
4	がん看護学概論		3	がんCNS課程2名を対象に、既存の文献をクリティークし、がん看護の基盤となる理論や概念を理解するための支援を行った。自己効力感、行動変容、がんサバイバーシップについて担当した。
5	病態生理学		4	各臨床医の講義の視点より学習した事例対象の病態生理学的変化から、どのように臨床看護判断につなげていくのかについて、各自事例を取り上げて発表し討議した。授業内容を振り返り、診断と治療の知識と技術を専門看護師の役割に、どのように反映するのかについて発表し検討した。
6	がん看護学援助論II		10	がん患者の生活の再構築を促すための看護、治療と生活の両立をより促進できるようにするための看護について、講義だけでなく、事例検討、文献検討を行った。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学IV		1	クリティカル演習「心肺蘇生法」をオンラインにて実施した。講義および、一人でも実施可能なペットボトルを用いた心臓マッサージ演習を取り入れた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習II		2020.5～2020.6	3年生を対象にした臨地での実習科目であるが、コロナ禍によりオンライン実習とした。事例は視覚教材を活用して、可能な限りリアリティを意識した患者事例を作成し、看護過程の展開ができるよう指導した。
2	総合実習		2020.7	4年生を対象に、「2020新型コロナウイルス感染症に関するわたしたちの提案」をテーマに、課題発見学習を企画した。オンライン実習における教育支援を行った。
3	IPW実習		2020.10	4年生を対象に、IPW実習のファシリテーターとして学習環境の整備とチーム活動を支援した。オンライン実習における教育支援を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4～2020.12	主指導	4名 副指導 名
2	修士論文		主指導（指導教員）	名 副指導（指導補助教員） 名
3	博士論文		主指導（指導教員）	名 副指導（指導補助教員） 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			

4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師			
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ
1	新人教育担当(新カフス)研修	川口市立医療センター	新人看護師を育てるとは
	開催年月	2021.2	
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	日本ヒューマン・ケア心理学会	理事(研修委員)	3年
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	地域貢献活動	認定NPO法人オレンジティ	女性特有がん体験者(特に婦人科がん体験者)を対象にしたおしゃべりルーム(交流会)を1~2回/月開催し、ファシリテーターとして参加支援している。
			期間
			2020.4~2021.3
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学長指定プロジェクトへの関与	Eプロジェクト研究「シームレスながん医療を促進するコーディネート能力向上プログラムの開発と有効性の検討」	2018.4~2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	保健委員会(禁煙部会、感染症対策部会)	2018.4~2021.3
3	学科等における委員会等	総務委員	2019.04~2021.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			